

植物多様性センターの「イシミカワの意外な親戚」

タデ科の一年草イシミカワは、外花被が青く熟す独特の果実で、秋の学習園の人気者です。花は薄緑色でとても地味なため、あまり注目されませんが、じつは皆さんよくご存じのイヌタデやミゾソバと同じイヌタデ属の植物なのです。イヌタデ属には、ほかにもママコノシリヌグイやアキノウナギツカミ、サクラタデ、ミズヒキなどの多くの植物が含まれます。現在、学習園で見られる種類を紹介します。



イシミカワ: 果実は青く色づく
(円内は小さな緑白色の花)



ミゾソバ: 田んぼの用水路などの
水辺に多い一年草



イヌタデ: 「赤まんま」とも称さ
れる里地に普通な一年草



ツルソバ: 林縁に長い茎を這わ
せ白い花を咲かせる多年草